

財務状況と中期経営計画

お客さまをはじめとするパートナーさまと、利益と価値を共有していくために。



■常務取締役 管理本部長  
岡崎 隆夫

＜イオンモールの経営理念＞

基本理念 「お客さま第一」

- 一、当社は環境保全並びに社会貢献を企業活動の基軸として積極的に推進する
- 一、創造的ショッピングセンターの開発と運営を通して地域社会の生活と文化の向上並びに商業の発展に貢献する
- 一、時代の変化に対応したリスクマネジメントとサービスの提供をはかり顧客並びに社会の発展に貢献する

イオンモール株式会社

17期連続増収増益

2005年は、4月に直方SC(福岡県)、5月に宮崎SC(宮崎県)、11月に水戸内原SC(茨城県)をオープンしました。3SCとも計画を上回り、好業績で推移しています。12月には、海外で第1号店となるグローバルモールを台湾にオープンしました。これは当社がこれまで培ってきたノウハウを活用したフィービジネスです。主に、建設管理業務や運営管理業務に参加しています。海外ではこの他、中国など多くの誘致をいただいております。準備をすすめています。

新規SCとともに、既存SCも順調で、保険事業も合わせ、今期の営業収益は529億300万円(対前期比123.7%)、経常利益174億1,900万円(同126.3%)、当期純利益103億6,900万円(同133.2%)となり、ディベロッパー事業開始から17期連続の増収増益です。

中期3ヶ年経営計画達成に向けて

当社では、2003年度に「2012年度

に50SC体制を確立し、世界のトップ10入りをめざす」との長期ビジョンを掲げ、2006年度をスタートとする新たな「中期3ヶ年経営計画および目標」を策定しました。

その中核は、3年間に10SC以上をオープンし、30SC体制をつくる計画です。2006年度は千葉ニュータウンSC、高崎SC(群馬県)、神戸北SC(兵庫県)をオープンし、30SC体制に向けた取り組みをすすめています。「まちづくり三法」の見直しを踏まえながら、お客さまが満足されるものは何か、地域から求められるものは何かを唯一の指標として、ビジョン実現に向けて取り組んでいます。

そのためまずは、拡大していく組織力の強化が課題です。雇用面での改善や教育にもさらに力を入れていきます。

■財務の健全性を維持

財務面では、キャッシュフローの最大化をめざして、収益力の高い投資案件への積極投資を行う一方、不動産流動化等にも取り組み、バランスの取れたファイナンス・ミックスをすすめて、

財務の健全性を維持していきます。具体的には、ROA(総資産当期純利益)水準を5%以上を維持しながら、株主資本比率25%以上を目標としています。

■地域と共生するSC像を追求

企業の規模が大きくなるにつれ、社会的責任も大きくなっていきます。これまでイオンが取り組んできた社会貢献活動に加え、さらに地元とのコミュニケーションを深めながら、地域と共生するSCのあり方を追求していきます。地域のみならずから選ばれるSCとなるために、「お客さま第一」の基本理念を、ともに働くパートナー企業とすべての従業員と共有しながら、お客さまに満足していただけるSCづくりをすすめていきたいと考えています。

保険事業報告

■年金制度・医療保険制度改革を視野に

従来はグループ従業員を主な対象に、自動車保険や年金保険等を販売してき



ましたが、2000年度からイオン各社SCも含め、SC内に保険相談カウンターを設置し、来店されるお客さまのニーズをうかがいコンサルティングを行っています。

個人向けでは、死亡保障よりも医療保障の充実を主眼とした保険が順調で、がん・医療保険の契約が伸びています。

法人分野では、イオンのグループ業務拡大にともない、個人情報漏洩保険など新商品の新規契約が増加しました。また、異常気象や災害が続くなか、リスクに総合的に備えるために、火災保険とあわせ地震保険を付帯していただく提案などを行っています。

2005年度の営業収益は、18億2,100万円(対前期比107.8%)となりました。

FTSE4 Good Global Index に選定

イオンモールは、2005年3月に、「FTSE4 Good Global Index」銘柄に選定されました。これは、環境保全やステークホルダーとの関係、人権への配慮の3つの観点から企業を評価する世界的な社会責任投資(SRI)指標のひとつです。



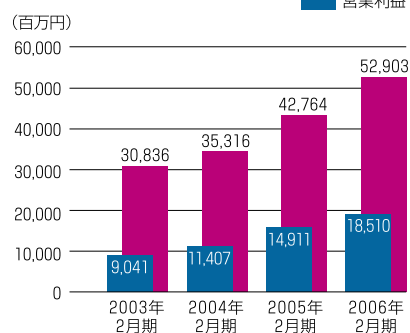
街づくりでの受賞

イオンモールは2005年4月「第7回テナントが選ぶディベロッパー大賞」(織研新聞)の「街づくり賞」を受賞。また2005年11月にりんくう泉南SCが、すべての人にやさしい街づくりの模範となる施設などを表彰する「第12回大阪・心ふれあうまちづくり賞」奨励賞を受賞しました。

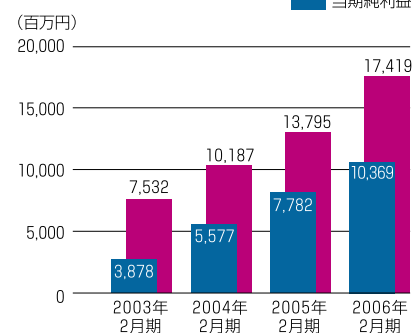
経営データ

単位：百万円

営業収益と営業利益

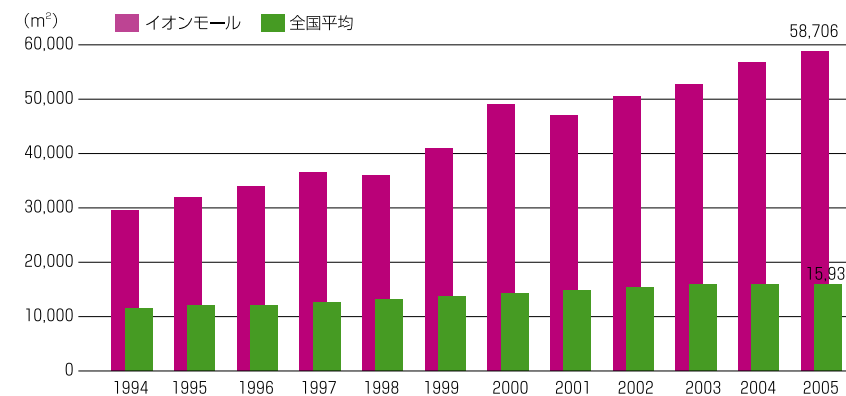


経常利益と当期純利益



イオンモールの平均面積の推移

単位：m<sup>2</sup>



イオンモール 全国平均

1SC平均商業施設面積	58,706m <sup>2</sup>	15,935m <sup>2</sup>
1SC平均専門店数	122店	47店
1SC平均売上高	250億円	95億円

全国平均のデータ出典：日本ショッピングセンター協会(2005年未現在)